

新規就農者(自営) 新規参入 4 ゼロからの新規参入

氏名	宮杉 隆広さん(35才)
家族構成	両親
市町村	いわき市
ホームページ	
就農形態	新規参入



1 経営の概要

- (1) 主な営農部門と規模 : ねぎ 50a
- (2) 労働力 : 本人
- (3) 販売方法 : ねぎ: JA出荷
- (4) 営農上の特記事項 : エコファーマーに準じた栽培法

2 プロフィール

- ・昭和49年 神奈川県藤沢市生まれ
- ・平成17年 工学院専門学校 音響芸術科卒業
- ・自販機オペレーターなど経る
- ・平成12年 いわき市移住
- ・平成20年 市の新規就農研修生として10ヶ月間研修を行う
- ・平成21年 いわき市にて就農

3 就農の動機

いわきに移住後、家庭菜園をするうち、作物を作ることに気持ちが向いた。

4 就農時の取り組み

- (1) 就農を決意した理由
家庭菜園をするうち、土への愛着や野菜を育てることに慣れ親しみ農業が身近なものになっていた。就農することはごく自然なことだった。
- (2) 就農するまでの経過と年数
2年間
- (3) 技術の習得方法
いわき市山田町のネギ栽培農家(エコファーマー)で1年間の新規就農の研修とそれに先立って1年間研修。
- (4) 過去の農業従事経験
なし
- (5) 農地の確保方法
畑 研修先農家を通じて借入れ50a
- (6) 資金の確保方法
ア 自己資金総額 150万円
イ 借り入れ 万円

(7) 住宅の確保方法

ア 持ち家

(8) 地域とのつきあい・所属団体など

ア JA組合員（ねぎ部会）

(9) 生活を支えた補助的収入

以前より、深夜のアルバイトをしている

(10) その他（努力を要したことなど）

(6)の150万円は研修時の報酬10万円/月と研修時に栽培したねぎの販売収入



5 国・県・市町村等の受け入れ支援措置の活用

- (1) 利用した支援制度：県農業振興普及部の支援を受けながら、いわき市新規就農事業研修生になったこと
- (2) 役に立った支援：研修前に紹介していただいた専業農家で学んだこと

6 就農しての感想

- (1) 良かったと思うことなど
自分で決めた目標に向かって仕事ができること。
- (2) 苦労したことなど
ほぼ1人での作業なので労働力が不足していること。

7 今後の目標・方針

労働力を増やして、少しずつ作付面積を広げたい。

8 新規就農を目指す人へのアドバイス

就農する前に1～2年間研修するなどして、営農を学ぶ期間を設けた方がよい。